

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月02日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000084"/>	整理番号 <input type="text" value="11258"/>	担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="抗HIV薬を目指したグルコンダーゼ阻害化合物"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="医薬品、研究用試薬"/>		
目 的	<p>現在の標準的なHIV 感染症治療法は、抗 HIV 薬を3～4剤使用する多剤併用療法であり、HIV感染者の生命予後を著しく改善した。しかし、薬剤耐性菌の出現等により、これまでに無い作用機序での阻害剤が常に求められる状況となっている。 本発明は、HIV 感染症治療に対し、ウイルス糖鎖成熟阻害という新たな作用機序に基づく阻害剤の提供である。</p>		
技術概要	<p>HIV 感染症治療に対し、ウイルス糖鎖成熟阻害という新たな作用機序に基づく阻害剤の探索にあたり、コンピュータで効率的に探索する方法を開発した。本技術により、簡便に有効な阻害剤を見出す事が可能となり、従来必要であった数十万単位の化合物探索を行う事なく、有用な阻害剤を見出す事が可能となった。従来、化合物の購入・管理が必要であったが、本方法により、ヒット化合物のみを購入・管理すれば良く、非常に効率的に阻害剤を探索する事を可能とした。 また、本方法を用いる事により、阻害剤構造の最適化においても最適な構造を事前に予測し化合物を合成する事ができるので、非常に効率的でありコストパフォーマンスに優れている。 さらに、本法を用い、新規な骨格を有するウイルス糖鎖成熟阻害活性化合物を見いだした。得られた化合物は、従来の阻害剤と同等またはそれ以上の優れた阻害活性を有し、その細胞毒性は非常に低かった。</p>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp